

会派視察研修計画書

平成27年12月14日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤 厚雄

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	大竹 敦子	
日時	平成28年1月20日（水）	
視察先	東京都千代田区	
研修内容	東京都千代田区：予算・地方創生・議会のあり方 集中セミナーin 東京	
日程	1/20 千代田区 9:30～16:30	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ）	自家用車利用_____台 所有者名（ ）

会派視察研修報告書

平成28年2月5日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤 厚雄

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員1名分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	大竹 敦子
日時	平成28年1月20日（水）
視察先	東京都千代田区
研修内容	東京都千代田区：予算・地方創生・議会のあり方 集中セミナーin 東京
日程	1/20 千代田区 9:30～16:30
備考	

視察研修報告書

平成28年2月5日

議員氏名 大竹 敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成28年1月20日（水）
- 2 視察先 東京都千代田区
- 3 視察の種類 会派視察研修（公明党）
- 4 視察の成果等 「予算・地方創生・議会のあり方 集中セミナー in 東京」

第1講 議会にとって民意とは

民主主義の社会では、自治体は民意に沿った政策判断をする義務があるが、その民意は立場によって異なってくる。よって、自治体の評価基準として民意を捉えるのは、困難である。自治体の評価基準には、経済、科学的知識、人口、幸福度など様々なことが上げられる。しかしながら、自治体への評価に民意は欠かせない。そこで、民意を見える化する必要がある。そうしたものに世論調査がある。しかし、そこでも、聞く方の意図によって、言い換えれば、聞き方によって答を操作することができる。また、新聞、テレビなどの論調は、民意から外れていることによって変われなくなり、見られなくなることから、民意を反映したものと言えるかもしれない。それでもやはり、書いた者の意思によるところが強い。選挙は当選者を決めるが、イコール民意という事にもならない。合意的民意という事を考えると、意見を集約して一つの民意として形成するためのプロセスが重要となる。十分な議論の末に採決をすると言っても、採決する段階で、少数派の存在が考えられる。そこで大切なことは落とし所を作ること、それができる者が、調整能力のある人として見られる。もやっとしてまとめられることは芸術の世界！！

永遠の課題である民意を集約できる能力、それは、政治家が適当な落とし所を見つける力、その芸術的才能を持っているかどうか、それを鍛えていく必要があるという事が重要である。

第2講 予算と自治体議会

権力の源泉はいろいろあるが、自治体においては、予算査定権を持つかがそれに当たり、首長は持っており、議会にはそれがないため、力のある首長には不信任が起きないが、議会はなかなか信頼されにくい。不信を持たれやすい。

民主主義を前提にすると、予算編成も議会が行うべきであるが、膨大な予算編集作業を議会がするとなると、それを支援する職員があまりいないため、執行部の各部署の職員に任せるといった事になった。そして現状、「執行部予算」という事で首長に有利な予算編成になっている。その場合、予算否決は、議会の解散につながることから、そのハードルは高いものとなっている。

議会が、予算編成に関わることの意義としては、首長一人の決定により、多くの議員による決定の方が多くの民意を反映したものになる。(不要な予算が増える傾向有。) 予算決定の責任は首長にあるが、議員にも責任があるとしたら容易な要求はできない。執行部から執行を停止される場合がある。議員の資質は予算編成に加わることにより向上する。

執行部の提出する予算はパッケージとなっており、一部を修正することが困難な場合がある。そのため、予算の追認議決になりやすい。否決した場合の住民生活への影響を考えると否決することは容易ではない。否決の恐れのある場合、事前調整される場合もある。しかしながら、人事権のある首長は強い。議会の弱点は人員を持たないことである。実質的に議会が否決できる可能性は低い。

議会が、二元代表制をフルに活かした形で活動するには、首長と同じように個々の予算単位まで長時間を割いて細かく審議することである。議会に必要なのは、首長と同じくらいの予算への意気込みと気力、体力である。議員の3分の2がその気にならないとなかなか進まない。可能性としては、すべてとはいかないので、重要な部分のみをピックアップして力を入れることはできるのではないか。また、首長には首長を支える職員が多数いるが、議員には職員の支援体制が弱いのでその強化が急務である。そのほか、一般的には大変困難だが、議員の予算査定を可能にするための査定基準を確立することも一つの方法である。

ここでも問題となるのは、議会で全体の整合性をいかにつくるかという事で、それが困難となれば、やはり、議会での予算査定は難しいものとなる。

決算審議を予算編成に活かすなどして、予算編成に積極的に関わり、住民にメリットを示していくことが、議会として重要である。